

平成28年度「香川県県政世論調査結果(速報)」

香川県では、県政の諸問題について、県民の方々の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とするため、毎年度「県政世論調査」を実施しています。

今年度は、6テーマについて6～7月に調査を実施しました。「県政の重要度と満足度」については、平成14年度から毎年度実施しています。

◆調査の内容

1. ボランティア・NPO活動について

共助の社会づくりを推進するための重要な資料とするために、ボランティアやNPO活動に関するご意見をお聞きしました。

2. 男女共同参画について

今後の男女共同参画施策推進にあたっての参考とするために、男女共同参画に関するご意見をお聞きしました。

3. 消費生活について

県民の消費生活の安全安心を確保するための施策の推進を図るうえでの参考とするために、消費生活に関するご意見をお聞きしました。

4. 食品廃棄物について

食品廃棄物削減の効果的な取り組みを検討するため、食品廃棄物に関するご意見をお聞きしました。

5. 高齢者の保健福祉について

「第7期香川県高齢者保健福祉計画」の策定に向けて、高齢者の保健福祉に関するご意見をお聞きしました。

6. 県政の重要度と満足度について

「新・せとうち田園都市創造計画」の各施策について、「重要度」と「満足度」をお聞きしました。

◆調査の概要

調査地域	香川県全域
調査対象	県内在住の満20歳以上の男女 3,000人
抽出方法	選挙人名簿層化二段無作為抽出
調査方法	郵送法
調査期間	平成28年6月10日～7月1日
回収結果	有効回収数 1,639 (有効回収率 54.6%)

※詳しい調査結果は11月に発表する予定です。

※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入しました。このため、百分比の合計が100.0%にならないことがあります。

◆主な調査結果

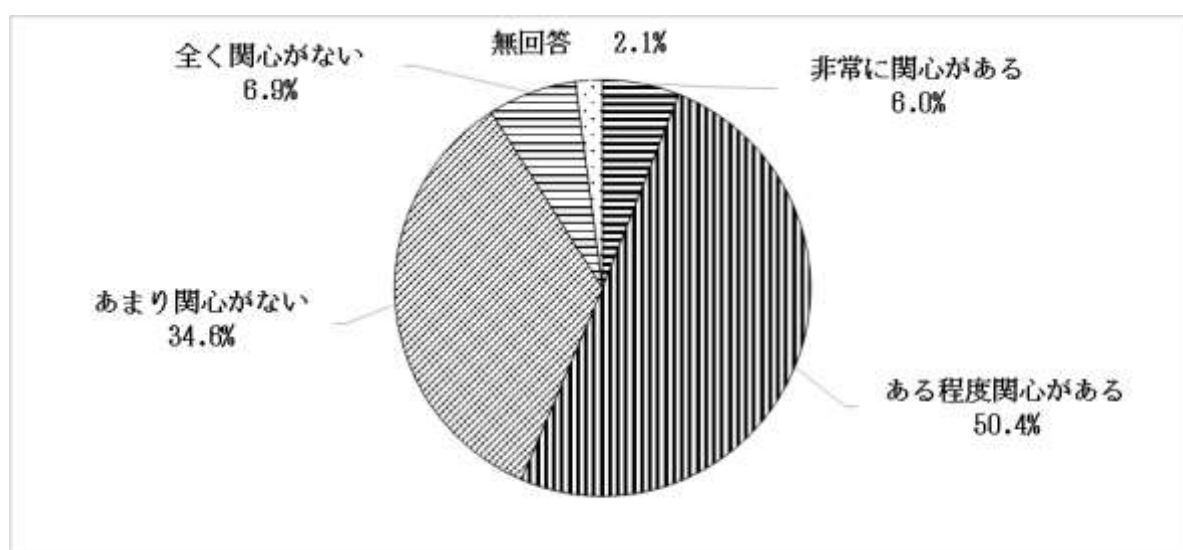
1. ボランティア・NPO活動について

ボランティアやNPO活動への関心の程度については、「ある程度関心がある」が50.4%で最も高く、「非常に関心がある」の6.0%とあわせて56.4%が「関心がある」と答えている。

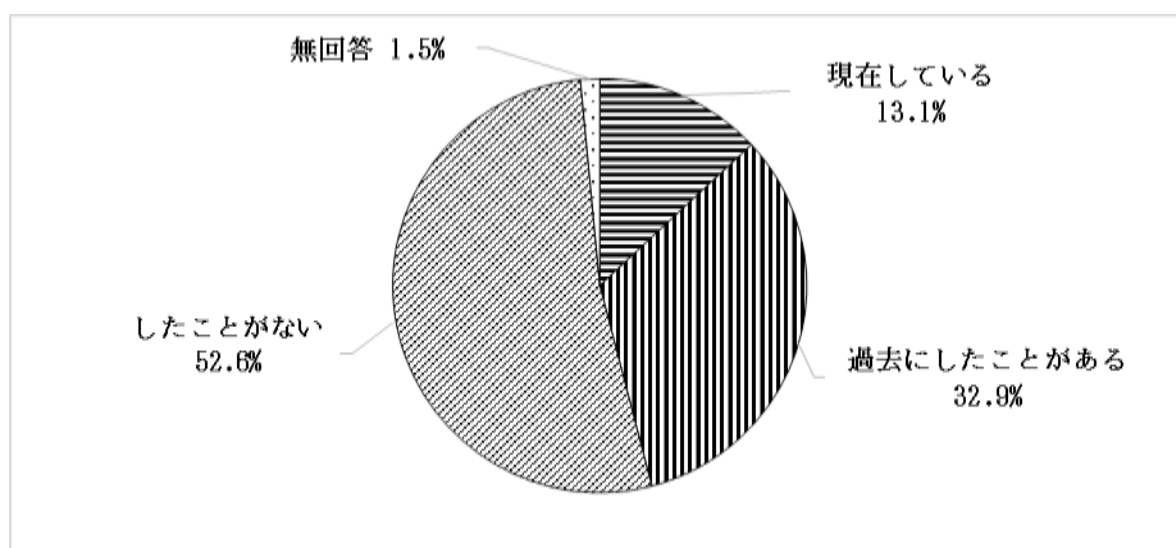
また、ボランティアやNPO活動の経験の有無については、「したことがない」が52.6%で最も高く、次いで「過去にしたことがある」が32.9%、「現在している」が13.1%となっており、「過去にしたことがある」、「現在している」とあわせて46.0%が「活動経験がある」と答えている。

その活動分野としては、「まちづくり関係」が60.7%と最も高く、次いで「環境保全関係」(55.9%)、「保健・医療・福祉関係」(42.1%)となっている。

ボランティアやNPO活動への関心の程度



ボランティアやNPO活動の経験の有無

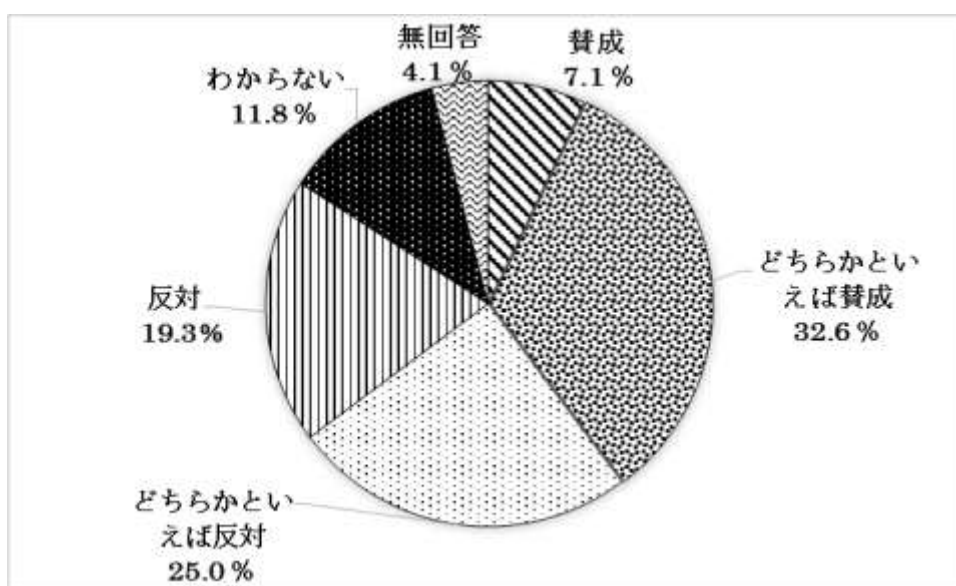


2. 男女共同参画について

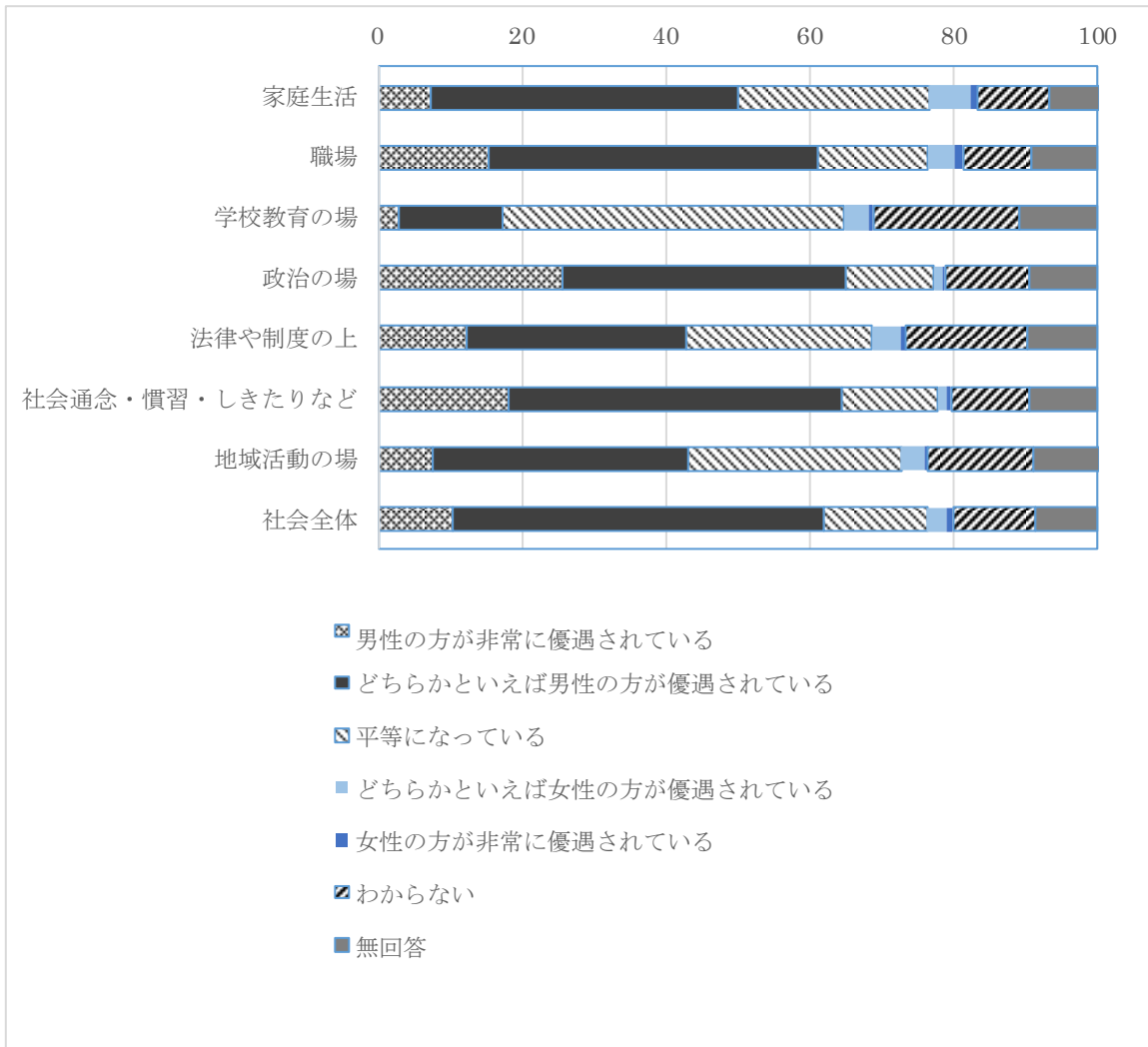
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた割合が 39.7%、「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた割合が 44.3%と答えている。

また、男女の地位は平等になっているかという設問については、「学校教育の場」のみ平等になっていると答えた人が多かったが、その他の分野については、男性の方が優遇されていると回答した人が多かった。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



各分野での男女の地位について

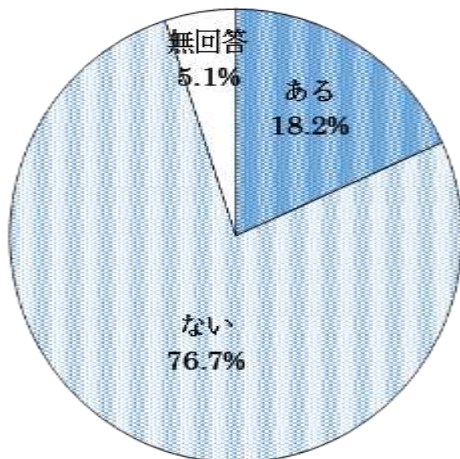


3. 消費者教育について

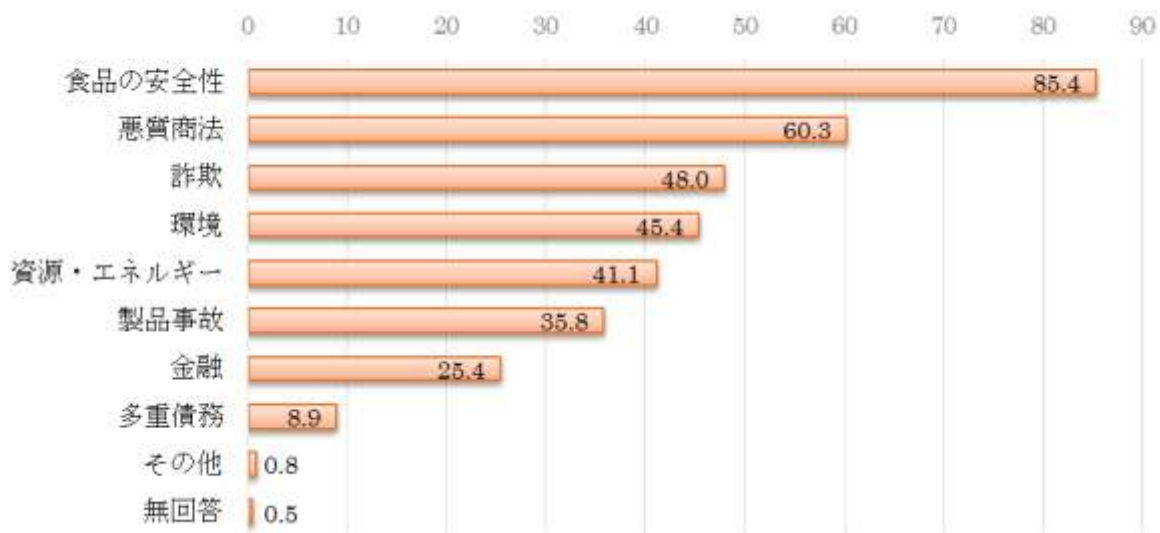
消費者教育(学校の授業、各種講座や出前講座等)を受けた経験について、「ある」が18.2%、「ない」が76.7%となっている。

また、関心のある消費者問題について、「食品の安全性」が85.4%で最も高く、次いで「悪質商法」が60.3%、「詐欺」が48.0%となっており、「環境」が45.4%、「資源・エネルギー」が41.1%、「製品事故」が35.8%となっている。

消費者教育の受講経験



関心のある消費者問題



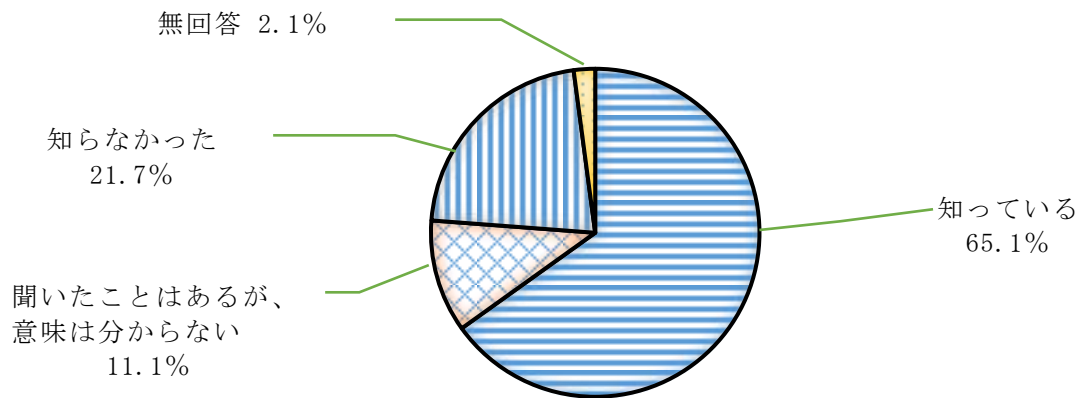
4. 食品廃棄物について

「食品ロス」(本来食べられるにもかかわらず、廃棄されている食品)という言葉の認知度は、「知っている」が65.1%、「聞いたことはあるが意味は分からない」が11.1%となっている。

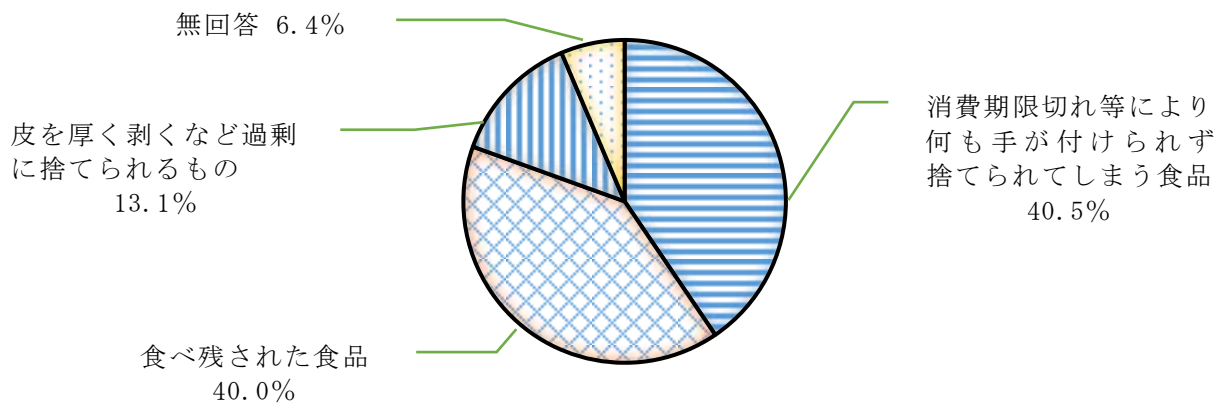
3種類の食品ロスのうち、よく出してしまうものの割合は、「消費期限切れ等により何も手が付けられず捨てられてしまう食品」が40.5%、「食べ残された食品」が40.0%、「皮を厚く剥くなど過剰に捨てられるもの」が13.1%となっている。

食品ロス削減の取組みについては、「取り組んでいるが、もっとやってみたい」が24.4%、「取り組んでいないが、やってみたい」が30.3%と、意欲的な回答がある。

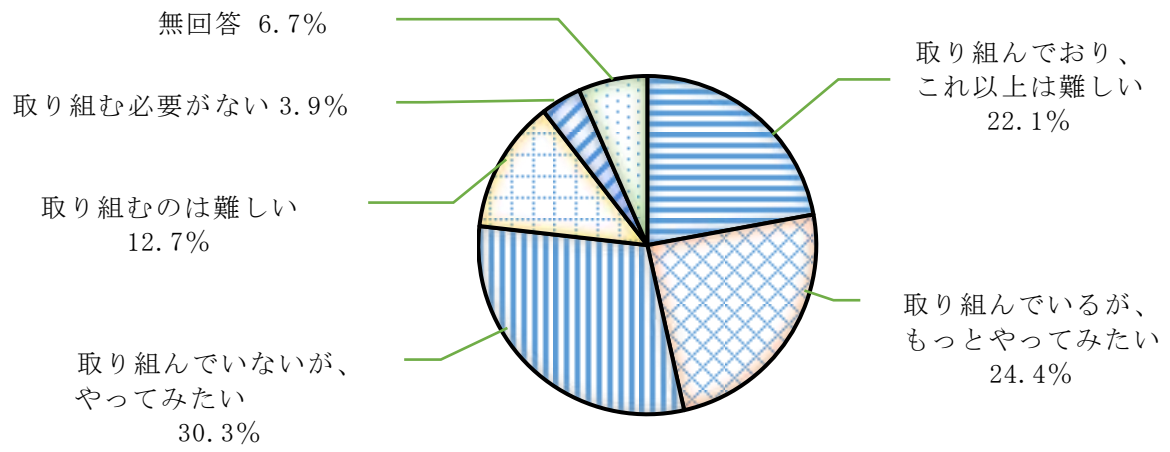
食品ロスという言葉の認知度



3種類の食品ロスのうち、よく出してしまうもの



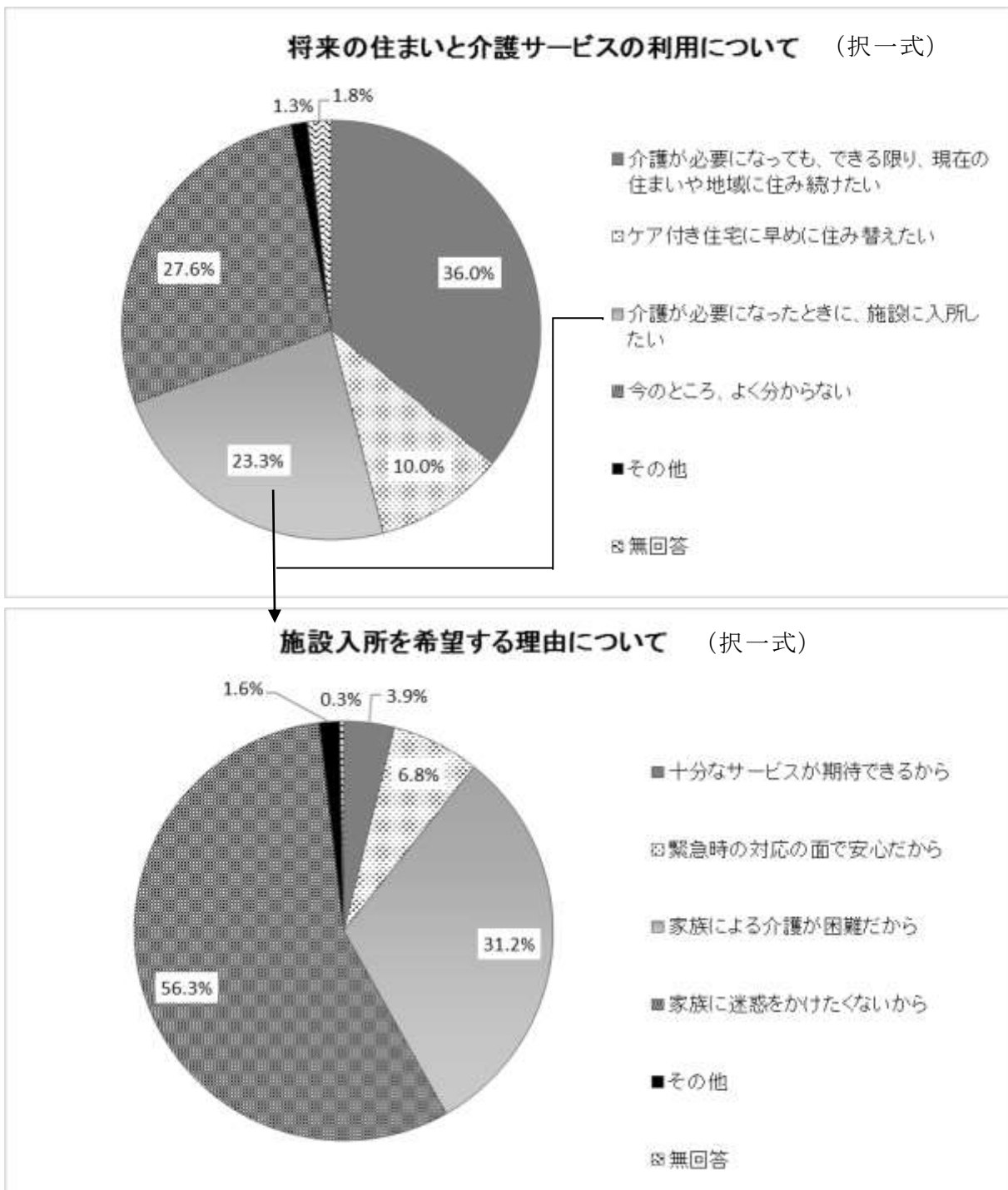
食品ロス削減の取組みについて



5. 高齢者の保健福祉について

将来の住まいと介護サービスの利用について、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」(36.0%)と回答した人が最も多く、続いて「今のところ、よく分からない」(27.6%)、「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい」(23.3%)と回答した人が多くなっている。

また、「介護が必要になったときに、施設(特別養護老人ホーム等)に入所したい」と回答した人の施設入所を希望する理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」(56.3%)が最も多くなっている。



6. 県政の重要度と満足度について

「新・せとうち田園都市創造計画」の各施策（24分野）について、どのくらい重要と考えているか、現状にどのくらい満足しているか、それぞれ五段階で評価を聞いた。

重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、高い順に『安心できる医療・介護の充実確保』（84.1%）、『子育て支援社会の実現』（81.2%）、『防災・減災社会の構築』（81.1%）であった。

また、満足度について、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた割合は、高い順に『雇用対策の推進』（27.5%）、『防災・減災社会の構築』（25.1%）、『移住・定住の促進』（23.6%）であった。

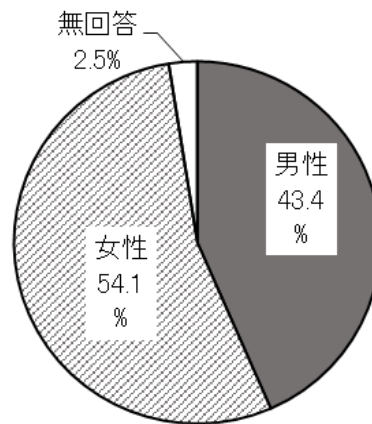
（参考）

「新・せとうち田園都市創造計画」施策体系

基本 目標	基本 方針	施策（分野）
せ と う ち 田 園 都 市 の 新 た な 創 造	1 成 長 す る 香 川	(1) 商工・サービス業の振興
		(2) 農林水産業の振興
		(3) 県産品の振興
		(4) 雇用対策の推進
		(5) 交流人口の拡大
		(6) 交通・情報ネットワークの整備
		(7) 移住・定住の促進
	2 信 頼 ・ 安 心 の 香 川	(8) 子育て支援社会の実現
		(9) 健康長寿の推進
		(10) 安心できる医療・介護の充実確保
		(11) 地域福祉の推進
		(12) 人権尊重社会の実現
		(13) 防災・減災社会の構築
		(14) 安全・安心な暮らしの形成
		(15) 安心して暮らせる水循環社会の確立
	3 笑 顔 で 暮 ら せ る 香 川	(16) 活力ある地域づくり
		(17) 環境の保全
		(18) みどり豊かな暮らしの創造
		(19) 教育の充実
		(20) 文化芸術による地域の活性化
		(21) スポーツの振興
		(22) 男女共同参画社会の実現
		(23) 青少年の育成と県民の社会参画の推進
		(24) 魅力ある大学づくり

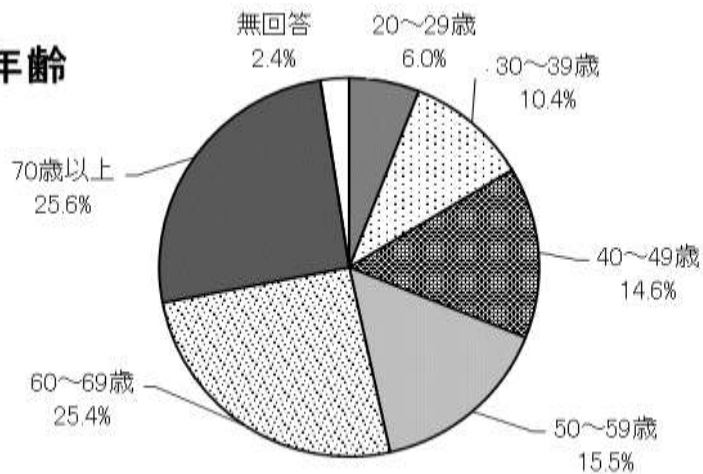
◆調査回答者の属性

性別



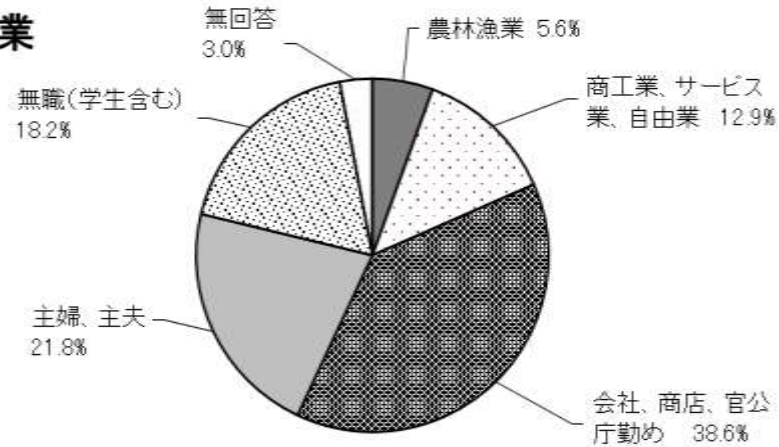
区分	回答者数(人)	構成比(%)
1.男性	712	43.4
2.女性	886	54.1
無回答	41	2.5
合計	1,639	100.0

年齢



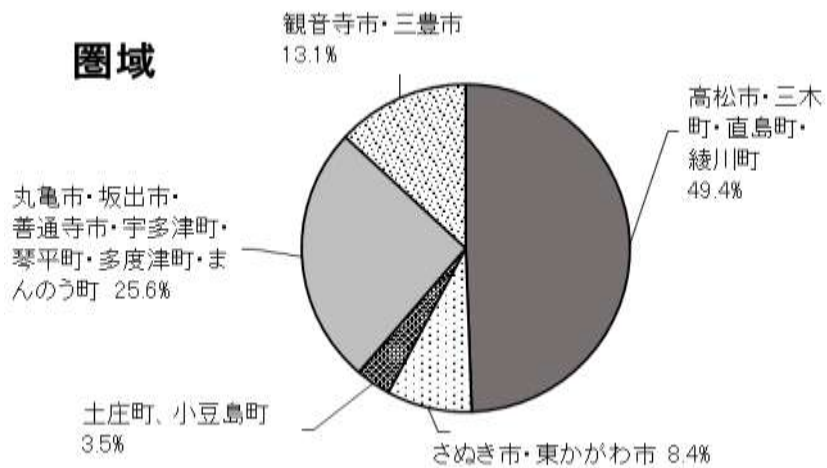
区分	回答者数(人)	構成比(%)
1.20~29歳	98	6.0
2.30~39歳	171	10.4
3.40~49歳	240	14.6
4.50~59歳	254	15.5
5.60~69歳	417	25.4
6.70歳以上	419	25.6
無回答	40	2.4
合計	1,639	100

職業



区分	回答者数(人)	構成比 (%)
1.農林漁業	91	5.6
2.商工業、サービス業、自由業	211	12.9
3.会社、商店、官公庁勤め	632	38.6
4.主婦、主夫	357	21.8
5.無職(学生含む)	299	18.2
無回答	49	3.0
合計	1,639	100.0

圏域



区分	回答者数(人)	構成比 (%)
1.高松市、三木町、直島町、綾川町	810	49.4
2.さぬき市、東かがわ市	138	8.4
3.土庄町、小豆島町	57	3.5
4.丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町	419	25.6
5.観音寺市、三豊市	215	13.1
合計	1,639	100.0